

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和8年度学校評価計画

達成度(評価)	
A	: 十分達成できている
B	: おおむね達成できている
C	: やや不十分である
D	: 不十分である

学校名	佐賀市立城西中学校
1 前年度 評価結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> 学校評価全般としては、各種アンケート結果から概ね良好な成果が確認された。今後は数値の評価に加え、生徒の具体的な姿や成長の姿をより明確に捉え、教職員が協働して教育活動の質の向上を図る必要がある。 コミュニティ・スクール推進校およびR6・7年度佐賀市研究委嘱校(2年次)として、情報発信を充実させることにより保護者・地域との連携が進み、学校理解の促進と教育活動への参画意識の高まりが見られた。 「豊かな対話」を軸とした授業づくりや開発的生徒指導の取組により、生徒の学習意欲や自己肯定感の向上が見られた。一方で、思考の深化や個に応じた支援の在り方には改善の余地がある。 「業務改善・教職員の働き方改革」についてはB評価となり、関係者からも改善を求める指摘があった。持続可能な学校運営の実現に向け、具体的な業務の見直しと取組の一層の推進が必要である。
2 学校教育目標	さわやか挨拶 響く歌声 楽しく学ぶ生徒の育成
3 本年度の重点目標	<ul style="list-style-type: none"> 佐賀市教育ビジョンの実現を踏まえ、校内研究を基盤として「豊かな対話」を核とした授業づくりを一層推進し、自己決定の場を大切にしながら、自ら考え学びを深める自律した学習者の育成と学力の向上を図る。 開発的生徒指導の視点で、全職員による組織的な生徒指導の充実を図るとともに、「番・役割・承認」のプロセスを通して、生徒の主体性や当事者意識を高め、自己肯定感・自己存在感の向上につなげる。 生徒の良さや可能性を引き出す教育活動を通して志を高め、対話や協働的な学びを通して他者を尊重し、主体的に判断し行動する力と規範意識を育成する。 業務改善及び教職員の働き方改革を推進し、教育活動の質の向上と持続可能な学校運営の実現を図る。

4 重点取組内容・成果指標 5 最終評価

(1)共通評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組		具体的取組	進捗度(評価)	進捗状況と見通し	達成度(評価)	実施結果	評価	意見や提言	
	取組内容	成果指標(数値目標)								
●学力の向上	○全職員による共通理解と共通実践、学習内容の定着に向けた分かりやすい授業の実践	○「学級の友達とて話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり、広げたりすることができると思う」と回答した生徒85%以上	・各教科における見方・考え方の見直しを実施する。また、豊かな対話の場面を設定し、生徒に考えを深めたり、喜びを実感させる授業作りを推進する。							研究主任(久米)
●心の教育	●生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、地域の中で生かされていることへの感謝や素直に感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○道徳の授業や人権集会後の道徳的価値に関するアンケートにおいて、肯定的な回答をした生徒85%以上	・SNSトラブル関連の題材を扱う道徳の授業や人権集会を通して、道徳に関するアンケートを実施する。 ・ふれあい道徳をはじめ、保護者や地域の方と連携した社会貢献活動体験を推進する。							道徳主任(宮崎)
	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実 ●専門家との連携、校内支援体制の充実、不登校の予防と改善。	○いじめ重大事案0件 ○年間30日以上不登校の割合5パーセント以下。	・早期発見、早期対応に努め、人権意識を高める取組を組織として実践する。 ・定期的、不定期的な教育相談の取組の推進と、情報の共有を徹底する。 ・不登校の未然防止、早期発見、改善につなげるため教育相談連絡会で組織的な対応を協議する等、教育相談体制の充実を図る。							生徒指導主事(古瀬) 教育相談担当(中島洋)
	◎児童生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動。	◎自らの夢や目標の実現に向けて努力する態度を育成するため、学校行事や各種活動後の振り返りで、努力する意欲が向上したと回答した生徒80%以上 ●「先生はあなたのよいところを認めてくれていると思う」と回答した生徒80%以上	・めざす学校像をもとにした各教科や学校行事等を通して、自分の夢や目標について考えさせる時間や場面の設定する。 ・各教科や学校行事での全員が役割を持つことで、意欲の向上に繋げる。学校教育目標である、「さわやか挨拶 響く歌声 楽しく学ぶ生徒の育成」を意識した学校行事作りを意識する。 ・生徒会を中心とした学校・地域行事のボランティア等の社会に貢献する力を磨く取り組みを推進する。							特別活動担当(江島)
○人権・同和教育の充実	○人権について学習する行事や授業づくりで取り組んでいると回答した教員90%以上 ○人権意識が向上したと回答した生徒90%以上	・人権について学習する行事や授業づくりを推進する。 ・各学年の人権学習の機会を増やすことで、人権・同和教育の充実を図る。 ・人権集会では、生徒から人権リーダーを募ることで生徒主体の企画・運営を推進する。								人権・同和教育担当(田原)
●健康・体づくり	●「健康的な生活習慣を身に付け、行動できる能力の育成」	●「健康が大切な理由や健康的な生活を具体的に理解している」、「保健で学習したことを、自分の生活に活かしている」と答えた生徒80%以上	・健康診断やスポーツテスト結果に基づいた個別の指導・支援を行う。 ・体づくり運動や保健授業の実施や振り返りの充実 ・生徒及び保護者向けに健康に関する情報発信を行う。(保健便り等の活用) ・達成感を味わわせる部活動の充実							体育主任(納富) 保健主事(福田)
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。 ●年間20日の年次休暇のうち、職員1人当たりの年次休暇の取得日数14日以上	・部活動休業日と定時退勤日の設定、さらに各種業務の内容や方法を見直して効率化を図り、年休が取得しやすい環境を作る。							管理職 部活動担当(横尾)
●特別支援教育の充実	○生徒の実態把握に努め、配慮を要する生徒の教育ニーズに応じた指導・支援の充実	○ユニバーサルデザインを意識した教育実践を通して、生徒が安全で安心して学校生活を送ることができる。	・特別支援教育に関する職員研修を実施する。 ・特別支援教育部会、ケース会議の開催、関係者間での情報共有の充実を図る。 ・小学校区の配慮を要する生徒の把握と、スムーズな入学の移行を行う。							特別支援教育Co(力久、牧本)

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組		具体的取組	進捗度(評価)	進捗状況と見通し	達成度(評価)	実施結果	評価	意見や提言	
	重点取組内容	成果指標(数値目標)								
○開かれた学校づくり	○地域と連携した社会性豊かな生徒の育成	○学校外でもさわやかな挨拶ができ、地域を愛し地域に愛される、地域に貢献する姿勢をもった生徒の育成 ○学校情報の発信を積極的に行う。学校HPでの情報発信を月に1回以上行う。	・開発的生徒指導の考え方を生かし、生徒の責任感や自信を育てる。 ・情報共有を図り、生徒に共感しながら自己存在感や自己肯定感の向上を意識した生徒指導の充実を図る。 ・各種たよりやHP等で定期的な情報発信を行う。 ・学校運営協議会で建設的な議論を行い、生徒や保護者、地域、職員にとって、より安全で安心な学校作りを推進する。							管理職

5 総合評価・次年度への展望	<p>●…県共通 ○…学校独自 ◎…志と誇りを高める教育</p>
----------------	----------------------------------